

第1回 純正会地域包括ケア推進委員会 開催しました！



平成29年12月21日に東洋病院の会議室にて、第1回純正会地域包括ケア推進委員会が開催されました。今回は第1回目という事もあり、委員長、事務局長、会則の承認を行い、それぞれの事業所の紹介をしました。

前列向かって左から、
 伴 憲子(東洋病院看護部)
 横井 真弓(訪問看護ステーション太陽)
 星野 由美(東洋病院退院調整室)

後列向かって左から、
 二村有香(名古屋西病院長)
 岡島真実(名古屋西病院長)
 安藤智美(名古屋西病院長)
 皆本一孝(名古屋西病院長)
 金田英裕(東洋病院)
 北島裕美(東洋病院)
 加藤美砂(東洋病院)

医療法人純正会では在宅ケア事業部に地域包括ケアを推進していくために十分な施設を有しています。そこで、居宅介護支援事業所太陽は中川区・港区で地域包括ケアを推進するため、この度名古屋西病院長と東洋病院の退院調整に関する職員とが協働して「純正会地域包括ケア推進委員会」を立ち上げました。

この委員会は医療法人純正会の多職種が一堂に会し地域課題を抽出し解決策を検討する研修会や情報交換の場として活用し、中川区・港区において地域包括ケアの担い手となるような活動ができることが目的です。

まずは法人内の連携・情報交換を行い、法人内の病院と在宅を太いパイプでつないでいきたいと思えます。

病院と在宅の垣根をなくしお互いの役割や専門性を尊重しながら地域に貢献していくことが大切であり、そうすることで療養者様の地域での暮らしが円滑にできると考えます。

また、この委員会の趣旨に賛同していただけるのであれば、どなたでも参加を歓迎いたします。少人数で始めた委員会ですが、この委員会が長く継続し今後ますます発展するよう努めていきます。関係機関の方々におかれましては何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



委員長 横井 真弓

今回参加された方の感想として、各事業所紹介では「同じ医療機関でも平均在院日数が全然違うので驚いた」という感想や、「病棟看護師の仕事ばかりしていたので介護保険制度の事がわからないので教えて欲しい」、「入院した人がすぐに退院になる事に疑問を感じたが、現在の情勢が分かり理解できた」という感想ができました。

医療と地域福祉との連携に関しては、「以前より介護支援専門員と看護師の仕事の違いを感じていた。介護保険制度もどんどん変化していくので病院でもそれに対応していく必要がある」、「同法人に入院病床がある強みを以前より感じていた。在宅介護と医療との連携は必要なので連携を行いたい」、「連携をしなくてはいけないとは判っていても、業務に追われなかなかできていない。今回の機会を利用して、同法人の強みを活かせる連携をしたい」、「今まで前は聞いた事があるが直接顔を合わせて話をした事ができて良かった」、「同じ法人職員として業務の悩みや支援方法について相談したい」との意見をもらった。

参加者の声



次回以降は、お互いの仕事の理解を更に深め連携を円滑に行えるよう学習会を開いたり、退院調整、地域の困難ケースに対しての事例検討を行う予定になりました。

次回の予定

日付	行事	場所
1月19日 13時半	介護保険制度について勉強会	東洋病院